

「エコツーリズム推進会議」開催要領

環境省

1 趣旨

エコツーリズムについては、環境保全、観光、地域振興のそれぞれの推進を両立する観光・旅行形態としてその理念がわが国に紹介され、すでに10年以上が経過したところである。この間、沖縄、屋久島、小笠原等においてエコツーリズムの振興のための先進的な取り組みがなされているが、なお全国的にひろく普及・定着するには至っていない。

このため、エコツーリズムの普及・定着を目指した推進方策について検討し、具体的に推進方策を展開していくことを目的として、「エコツーリズム推進会議」(以下、「推進会議」という。)を開催する。

2 検討事項

- (1) 今後のエコツーリズムの推進方策について
- (2) その他

3 議長及び構成委員

推進会議の議長は、環境大臣とし、その他の委員は、別紙1に掲げる者をもって構成する。

4 運営

- (1) 推進会議は公開とする。
- (2) 会議の資料は、会議の終了後、ホームページ等により公開する。
- (3) 会議の議事概要については、委員の了解を得た上で、ホームページ等により公開する。

5 幹事会

- (1) 推進会議の検討事項について専門的に検討し、具体案を提示する会議としてエコツーリズム推進会議幹事会を開催する。
- (2) 幹事会は、別紙2に掲げる者をもって構成する。
- (3) 幹事会に座長を置き、推進会議の議長の指名によりこれを定める。
- (4) 上記「4 運営」の規定は幹事会に準用する。

エコツアーリズム推進会議委員名簿

(敬 称 略)

(50 音順 : 省庁順)

氏 名	所 属
愛知 和男	N P O 法人日本エコツアーリズム協会会長
稲嶺 恵一	沖縄県知事
加藤 登紀子	歌手・国連環境計画 (U N E P) 親善大使
金田 平	(財) 日本自然保護協会理事
小池 百合子	環境大臣
小林 英俊	(財) 日本交通公社理事
佐藤 友美子	サントリー不易流行研究所部長
下村 彰男	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
新町 光示	(社) 日本旅行業協会会長
高橋 はるみ	北海道知事
中谷 健太郎	由布院温泉亀の井別荘社主
二階 俊博	(社) 全国旅行業協会会長
C . W . ニコル	作家
西村 幸夫	東京大学大学院工学系研究科教授
野口 健	アルピニスト
広瀬 敏通	N P O 法人ホールアース研究所代表理事
星野 佳路	(株) 星野リゾート代表取締役社長
堀内 光一郎	富士急行 (株) 代表取締役社長
アン・マクドナルド	県立宮城大学特任助教授
溝尾 良隆	立教大学観光学部長
吉野 源太郎	(株) 日本経済新聞社論説委員
武田 宗高	内閣府政策統括官 (沖縄担当)
大野 慎一	総務省政策統括官
銭谷 眞美	文部科学省生涯学習政策局長
太田 信介	農林水産省農村振興局長
澤井 英一	国土交通省総合政策局長
小野寺 浩	環境省自然環境局長

議長

(27 名)

エコツーリズム推進会議幹事会委員名簿

(敬称略)

(50音順：省庁順)

氏名	所属
石岡 鍊一郎	秋田県藤里町長
石川 満	全国旅館生活衛生同業組合連合会専務理事
石山 醇	(社)日本旅行業協会事務局長
伊藤 延廣	磐梯人工コガイドの会会長
大黒 栄二	(社)日本環境教育フォーラム事務局長
小野 昭生	(社)全国旅行業協会専務理事
小野 有五	北海道エコツーリズム協会会長
海津 ゆりえ	NPO法人日本エコツーリズム協会理事
小林 英俊	(財)日本交通公社理事
午来 昌	北海道斜里町長
桜井 義維英	NPO法人自然体験活動推進協議会事務局長
下村 彰男	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
日高 十七郎	鹿児島県屋久町長
広瀬 敏通	NPO法人ホールアース研究所代表理事
南 正人	(株)ピッキオ ワイルドライフリサーチセンター代表取締役社長
吉田 正人	(財)日本自然保護協会常務理事
安田 充	内閣府政策統括官(沖縄担当)付参事官(企画・産業振興担当)
赤川 淳哉	総務省自治行政局地域振興課長
折原 守	文部科学省生涯学習政策局社会教育課長
芝田 文男	厚生労働省健康局生活衛生課長
中尾 昭弘	農林水産省農村振興局地域振興課長
前田 隆平	国土交通省総合政策局観光部企画課長
平岡 孝夫	国土交通省都市・地域整備局地方整備課長
盛山 正仁	環境省自然環境局総務課長

(24名)